

平成28年度島根大学大学院
教育学研究科入試問題（Ⅱ期）
《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》

小論文

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 1枚、解答用紙 2枚、下書き用紙2枚である。
指示があつてから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は、持ち帰ること。



《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》

小論文 問題

近年、教科等の指導における言語活動が重要視されている。実際、平成 20 年に改訂された小学校学習指導要領ならびに中学校学習指導要領、平成 21 年に改訂された高等学校学習指導要領ならびに特別支援学校学習指導要領等のそれぞれにおいて、言語活動の充実が求められている。また、小学校版、中学校版、高等学校版の「言語活動の充実に関する指導事例集」を文部科学省が作成するなどの取り組みも行われている。

そこで、このように言語活動の充実が重要視されるようになった背景、および言語活動の意義と課題について論じなさい。さらに、教科等の指導における言語活動の具体例をあげ、予想される効果について、学校種と教科等を明示した上で論じなさい。

以上のことに関して、1200 字程度（1100～1300 字）で答えなさい。